

## 山行報告書

山行管理部

例会山行 中山連山 1月22日

L 田中 SL 矢口・島田・森本 36名 (内一般3名)

阪急梅田 (宝塚行急行) 8:56~山本駅 9:22~西明寺滝道分岐 10:08~展望岩 12:10  
(食事)12:38~中山最高峰 13:15~中山寺奥の院 14:15~清荒神 15:13(解散)  
~阪急清荒神駅 15:35

梅田駅ではダイヤ乱れの為来た電車に乗る、満員、天気予報もなんとなく雨模様で波乱の幕開けでした、最初の岩場の上りでは天気は持ったのでほっとする、縦走路を歩き出すと「あられ」が降り出し雨具を着る、少しすると日が差してくる、23人のグループが先に行っているので食事の場所で悩んだが展望岩の先でゴルフ場へ行く道(?)ほとんど人が通らない道で食べよと判断する、いざ食事なんと計ったように食事の間だけ小雨が降る、中山最高峰に着いたがさすがに誰もいなかった、奥の院でトイレとクラブ紹介等予定していたが奥の院に着いたとたん激しく雪が降り出し寒くてトイレが済み次第クラブ紹介等せずにはすぐさま出発少し歩くと雪も止み日が差してくる、今日は不安定な天気で合間合間にお日様が顔を出し温かく我々山行を見守ってくれていた、クラブ紹介等していなかったのに2名の方に入会していただきました。

(田中 記)

教育部 比良・堂満岳 2月11~12日 CL 高桑 SL 高山 7名

旧大阪中郵集合 14:00 →比良 (R161 分岐) 16:00→イン谷 17:00→就寝 21:00  
05:00 起床 テン場 07:20 → 堂満第一ルンゼ 09:20 → 堂満岳 13:00 →  
金糞峠 → テン場 17:00 → 撤収帰阪 20:00

予定日の2日前より大雪予報でノーマルタイヤでは心許ない出発であったが道路情報では国道161号は比良までは大丈夫。しかし、イン谷への交差点は国道からは入れず高架下に駐車して徒歩でイン谷へ向かう。テン場の設営も他パーティーは此花の3人のみで場所の確保で悩まなかったのは初めてかなと思う。翌日は5時起床で6時半出発の予定であったが7時20分になる。この時間にするのはもっとコミュニケーションと経験が必要。当面は朝はお湯のみの行動食にするが時短の課題が顕在したことが参加者の向上につながると思う。ルンゼには雪崩予測の弱層テスト中に此花の3人パーティーが先行してそのトレースを頂戴して山頂まで登頂。登り斜面は胸まで雪でそれぞれがラッセルを試みるがこれも今後の課題として各自が実感する。下りは滑落停止技術が備わっていればルンゼを尻セードで一気に下山できるが金糞峠経由で下山。テン場に着くと我々のテントがぺっしょんこになっているでは

ないか？テント上部の樹枝に前日より積もった雪と新雪が何らかの弾みで一気に落下したためと思う。そのような事象は想定外の事象であった。

(高桑 記)

## 自然保護 野鳥観察 (山田池公園) 2月12日 (日)

L 石野 (明)・友田 (桂) 9名

京阪枚方市駅 9:00. — バス — 9:30 山田池公園 ~ 11:30 休憩 ~  
12:30 鳥合わせ ~ 12:40 解散

寒さに負けないバードウォッチャーへのご褒美か枚方の鳥、カワセミが早速のお出迎え。コバルト色の美しい姿をじっくり観察。

今年も枚方野鳥の会の松下先生の案内していただきましたが、オオタカの親子のせいで水鳥やカモ類が少なくなったそうです。初めてお目にかかったトラツグミ。珍しいアトリ、シメ、イカルなど時を忘れ、35種の確認をしました。

(友田桂 記)

## ウィークデー 山の辺の道 2月15日 CL園 SL森下 参加11名

近鉄桜井駅 9:45 → 仏教伝来の碑 10:15 → 三輪神社 10:50 →  
桧原神社(昼食) 11:30 → 景行天皇陵 12:45 → 天理観光農園 14:50 →  
石上神宮 15:15 → 近鉄天理駅 16:00 解散

昨日までの厳しい寒さが嘘の様にやわらぎ快適なハイキング日和、道中のいたる所に芳しい香りの蠟梅が満開で楽しくさせてくれる。この道は飛鳥時代の国道とも云える道。歴史上の出来事やその遺跡にあふれていて何度来ても飽きることがない。二上山から金剛山まで一望出来る景観も素晴らしいものでした。

(森下 記)

## テーブル山行 高野山町石道 2月18日

L 児玉・SL 杉谷、吉田(正) 参加23名 (内一般1名)

南海難波駅 8:13—上古沢駅 9:36 着 9:55 出—古峠 11:20—二つ鳥居 11:30—  
丹生都比売神社 12:10 (昼食) 12:55 出—六本杉峠 13:25—展望台 14:35—慈  
尊院 15:20—九度山道の駅 解散—九度山駅 16:00 着—南海難波駅

朝から快晴 入念に体操し、駅より少し下ってそれから急な上り坂。心地よい汗をかきながら途中山行部長のワンポイント読図もうけ古峠にたどり着く。しばらく行くと大きな二本鳥居天野の里山も連なる山々も、素晴らしい展望。里山に下り丹生都比売神社へ。高野の守護神と言われ立派な社と太鼓橋。昼食後六本杉からは町石を数えつつ、うつそうとした山道を歩き展望台へ。九度山の町を下に見つつ女人高野の慈尊院に着く。九度山は真田の里、富有柿の里。今回はN o 121~180の

町石道を歩きましたが、いにしえの人々に思いをはせる事ができたでしょうか。みなさん何事もなく無事下山できホッとしました。残りの町石道も歩きたくなりませんか。  
(杉谷 記)

**有志山行 氷ノ山 1月28～29日 L高桑 参加7名**

1/28 JR 尼崎駅 9:30→わかさ氷ノ山スキー場 14:00→高原の宿ひょうた君 17:00

1/29 若桜氷ノ山スキー場 08:00→三ノ丸避難小屋 9:30→氷ノ山山頂 10:50

→氷ノ山越 12:00→高原の宿ひょうた君 13:40→JR 尼崎 17:30

今回は木村さん、高橋さん不参加で高桑さん、高山さん率いるパーティー。テント場で整地をしながら明日をどのコースにするか下山者の方へ高桑さん出口調査。心配だった天気もトレースも大丈夫だと判断してロングルート三ノ丸ルートへ。積雪量はゲレンデで2M。わかん、ラッセルのトレーニングは十分出来ました。アクシデントでテント泊は流れ、施設で宿泊に変更になりましたが、それもまた良い経験だったと思います。シリセードもロングコースで締めくくれ楽しい山行になりました。園さんお見送り、差し入れと有難うございました。また宜しくお願い致します。  
(矢口 記)

**有志山行 武奈ヶ岳 1月29日 CL原 SL井 参加4名**

明王院登山口(8:25)→夏道冬道分岐(10:29)→御殿山(11:15)→(12:25)武奈ヶ岳

(12:40)→御殿山(13:25)→846m 地点下標識地点(14:22)→明王院登山口(15:37)

深雪だがトレースのしっかりついていて、明王院登山口からアイゼンを付け御殿山コースの急斜をひたすら登る。主稜線に出からは雪質も良くなり、御殿山を通過。ワサビ峠は標識が雪に埋もれ東側のワサビ平方面は、雪庇が発達していて、危険そう。予定の武奈ヶ岳→コヤマノ岳→中峠→ワサビ峠の周回は諦め、御殿山往復コースを行うことに。最後のワサビ峠からの急登を登り武奈ヶ岳頂上へ。頂上到着時間が、お昼頃のため気温が4℃まで上がり、霞のため望めたのは、近くの蓬莱山や伊吹山くらいで景色はイマイチ。早々に来た道を下る。このコースの846m 地点下、標識直前付近迄の標高700m～790m間では、登り下りとも結構時間を取られました。夏道では急傾斜のためジグザグコースとなっているが、雪がたっぷり付いていたので、下りに使われた直進コースのトレースが、何本もあり、そのルートが登り下りのメインルートになってしまっていて、かなりの斜度になっていました。この日を含め3日程  
気温が高かったこともあり、深雪がモナカ雪状態で、トレースを踏み外すと踏み抜き、膝まで沈む状態。出来るだけジグザグとなっているトレースを拾い、時には、最後尾のCLから見渡してもらいコース指示を受けて進みました。特に下りは、少し先の単独行の男性が20m位、俵の様に転がり落ちられたのを見たこともあり(ケガはないようで、行動停止もせず下山された)、慎重に下った。丁度下山時、天気予報より少し早めに、

小雨が降り出しました。関西至近で、この時季ならではの雪山を楽しみました。

(井 記)

**有志山行 赤倉温泉スキーツアー 2月2日** CL井、SL入山 参加5名

2月2日 JR新大阪駅南側団体バス駐車場 22:10=(スキーバス)=早朝赤倉温泉バスターミナル=(徒歩)ホテル太閤=赤倉温泉スキー場でスキー=ホテル太閤泊

2月3日 赤倉温泉スキー場でスキー=ホテル太閤泊

2月4日 午前 赤倉温泉スキー場でスキー 14:30 赤倉温泉バスターミナル=(スキーバス)=JR京都駅(一部下車)=22時過 JR大阪駅(解散)

3m以上の積雪でゲレンデの雪は十分。天候にも恵まれ、ゲレンデからは、妙高山、黒姫山、斑尾高原などが望めました。赤倉温泉スキー場の主に初級者コースで、基礎スキーを楽しみました。右回りターンが、苦手な方も帰る頃には、上手くターン出来るまでに上達されました。最終日は、半日だけですが、ゲレンデツアーを楽しみました。

全員、無事故でスキー&温泉を楽しみ帰阪しました。

(井 記)